

平成28年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果について（5年）

平成28年7月7日に5年生の学力調査が行われました。その結果が集計されましたので、お知らせします。児童一人一人には、個人の結果と分析を配布します。それには、問題の内容別の正答率が出ています。各ご家庭で学習内容がどれくらい身に付いているかを確かめて、今後の学習に役立てていただければ幸いです。学校としては、この結果や分析から授業改善プログラムに反映するなどして、本校の教育活動の一層の充実と改善を図ってまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 結果

【教科の内容】 学年正答率（太字は東京都の数値を上回っているもの）

	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能 書く		知識・理解 言語		読む	
	大泉小	東京都	大泉小	東京都	大泉小	東京都	大泉小	東京都	大泉小	東京都
国語	92.6	90.6	80.7	82.3	56.2	54.0	79.9	78.0	73.7	72.9
社会	87.7	91.3	62.5	58.2	79.8	81.0	76.3	69.9		
算数	83.3	82.6	60.8	54.8	68.4	64.9	78.1	72.6		
理科	99.4	94.8	81.0	74.2	51.2	48.4	61.3	56.4		

【読み解く力に関する内容】 学年正答率（太字は東京都の数値を上回っているもの）

	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	大泉小	東京都	大泉小	東京都	大泉小	東京都
国語	80.2	78.2	74.1	74.1	35.8	33.1
社会	80.2	80.0	66.0	65.5	75.3	69.7
算数	73.5	70.6	27.8	25.0	38.3	33.3
理科	64.8	66.1	67.3	60.5	56.2	51.1

2. 結果と分析

【教科の内容】に関しては、ほとんどの項目で大泉小の正答率が東京都の正答率を上回っています。特に、「思考・判断・表現」と「知識・理解」では、3教科の大泉小の正答率が東京都の正答率を5%程度上回っています。「思考・判断・表現」と「知識・理解」の項目がよいということは、学習内容を基にして、自ら考え、判断し表現する力が身に付いてきていると言えます。児童の意識調査との関連では、授業の中でめあてを意識したり、学習内容を振り返ったりすることをしっかりと行っていると答えた児童は、各教科の正答率が高くなっています。主体的に学習に参加していることが結果に繋がっていると考えられます。学校では、児童がさらに主体的に学習に取り組めるように課題を工夫したり、グループ学習などを多く取り入れたりしていきます。ご家庭では、今後も家庭学習の時間をしっかりと確保していただき、基礎的な力の定着にご協力をお願いいたします。

【読み解く力に関する内容】に関しても、ほとんどの項目で大泉小の正答率が東京都の正答率を上回っています。特に、「解決する力」では、大泉小の正答率が東京都の正答率を5%程度上回っています。児童の意識調査との関連では、読書の時間を1時間以上とっていると答えた児童は、国語と社会の正答率が高くなっています。読書は読み取る力を付けるのに、とても有効な手段です。ぜひ、ご家庭でも読書の時間を確保していただき、読書を習慣づけしていけるとよいと思います。

なお、正答率は母集団の数や分布の様子によっても変わってきますので、配布される一人一人の個人票をご覧になって、今後の学習の参考にしてください。